

—平成30年—

あけまして
おめでとうございます

1月4日議場にて、町民と議員との「新春座談会」を開催しました。

町内のにぎわいのある場所ががんばっている6名の方をお招きし、町の魅力や交流人口拡大について、大石田町への熱い想いを話していただきました。



氏名・村岡純子さん(鷹巣)
勤務地・(株)大石田町地域振興公社
「あったまりランド 深堀・虹の館」

町に空き家が120件あり、転出者のほとんどが雪のないところに行ってしまう。町内の雪景色は本当にきれいで感動する。しかしきれいなだけでは生きていけない。人口流出を止め、いかに人が来るかを考えなければと思う。

あったまりランドは前回の改修から「ねこバス」の問合せ等が増え、人は来ている感じがする。更なるサービスが必要。



氏名・五十嵐恵美子さん(四日町)
勤務地・最上川千本だんご

日々、笑顔を忘れずに接客するよう従業員に指導している。「今日も笑顔で」と一言、上に立つ人が口に出すだけで意識が違ふ。接客が悪いと二度目がない。町外県外からもう一回来てもらいたい。気持ちよく帰ればまた来たいと感じてもらえる。家族や友人、近所の人にも紹介したくなり、リピーターや新規のお客様も増えると思う。そんな場所であり続けたい。



氏名・香坂 明さん(仲通)
勤務地・KOE no KURA
「大石田町地域おこし協力隊」

町には何も無いという人がいるが、都会からの観光客は小さなことに魅力を感じている。銀山・だんご・そばなどの「まわりの情報」「ついでの情報」「小ネタ」をちよつと教えてあげるだけで楽しさを感じる。そして、そこに価値が生まれる。情報発信は誰かがやるのではなく、それぞれがやっていたら理想だと感じる。

新春座談会

大石田町のたくさんの魅力! もっと自信をもって発信! 交流人口拡大につなげよう



氏名・遠藤舞子さん(仲通)
勤務地・KOE no KURA
「大石田町地域おこし協力隊」

町の魅力発信のために3種類のSNSで情報発信している。町に関わりがない人からも魅力を感じ、興味を持ってもらえる情報を発信していきたい。インスタグラムで情報を知り、宮城県からわざわざ「KOE no KURA」に来てくれた方がいた。これからも宮城県、秋田県など県外に向けて、情報発信に取り組みたい。



氏名・有路麻布由さん(庚申町)
勤務地・大石田町立図書館

図書館も接客が大切と感じている。何度も来たくなる図書館にしたい。これからスタンプラリーなど他市町と連携した企画を考えている。行政や民間など隔たりなくタッグが組める環境が必要と感じる。どこにどんな石碑があるなど町の観光情報を町民がもっと知るべき。観光客からはいろんなニーズがあると思うので、選択できるような取り組みを。



氏名・齋藤知里さん(豊田)
勤務地・(株)大石田町地域振興公社
「大石田駅売店」

冬の大石田駅は大変込み合う。そんな時、声をかけて情報提供することは難しい。大雪の中でも雪の写真を撮って楽しんでる外国人は多い。雪と観光を一緒にした体験ツアーなど、雪を楽しむ企画はいいと思う。観光客は1ヶ所ですべての情報を聞くのではなく、行く先々で情報を集めている。町全体で観光情報を共有し、どこからでも情報発信できるというのは。